

養成講習会での感染対策レポート(2021年3月開催・東京会場)

2020年度は後期より感染対策を行いながら講習会を再開しました。

そこで、2021年3月に東京会場で開催された実技講習会の様子をお伝えします。



受講生の皆様には、講習会開始2週間前から健康チェックをしていただいております。

【健康チェック内容】

1. 発熱等の症状があった。
2. 風邪様症状(息苦しさ、強いだるさ、のどの痛み、咳など)があった。
3. 味覚・嗅覚の異常を感じた。
4. 自身のご家族や同居人など、身近なひとで発熱など体調不良の方がいた。
5. 健康に関して不安なことがあった。

これらの健康チェック票を実技講習会初日に提出していただきます。

講習会会場に入る前にマスクの着用・手指消毒・検温(非接触)・健康チェックリスト(当日の様子)の記入をお願いしております。また、当日の担当教師も同様に検温・健康チェックリストの記入を行っております。



その後、手洗い・うがいを行っていただき、更衣室が密にならないよう人数制限をしながら実技の服装に着替えていただきます。



実技中、教師・受講生（セラピスト役・患者役）はフェイスガードを着用し、使用するベッド（患者役の際に寝るベッド）を1人につき1台専用とし、タオル等の共有をしないよう徹底しております。直接皮膚に触れるため、実技練習の前後で手洗い・手指消毒を行っていただきます。会場内に数か所消毒剤を設置し、教師は指導の際、受講生に触れる度に手指消毒を行います。また、常時換気を行っております。



2021年1月には2度目の緊急事態宣言があり、急遽様々な変更がある中で、受講生の皆様には予定の調整やたくさんの感染対策にご協力いただき、感謝いたします。今後も安心して受講していただけるよう協会一同努めてまいります。